第2章 環境保全の取組事例調査の結果

自治体、企業、市民、NPO等による環境保全と地域活性化に関する自主的・主体的取組の事例調査を通じて、地域や主体間が連携して、持続的な環境保全活動を通じて地域の経済やコミュニティの活性化を図る方策を分析し、中部地域における「環境と経済、社会の統合的向上モデル」を検討する資料とした。

2-1 取組事例の類型化

中部地域の自治体や企業、NPO等において、地域の環境保全に関して特色のある取組を行っている団体の情報を収集し、下記のように取組事例を5つに類型化し整理した。(※主な取組事例リストは資料編に掲載)

表2-1-1 取組事例の類型化

類型	取組事例
I. 低炭素社会へ の転換	○自然エネルギー(太陽光、小水力、風力発電)の活用 ○木質バイオ発電と森林整備・保全 ○水素エネルギーの開発と関連産業の創出 ○分散型エネルギーシステムの普及 ○環境負荷の低い交通へのモーダルシフト
Ⅱ. 資源循環利用 システム	○廃材・衣料・廃食油等の再資源化○生ごみの堆肥化と農業利用○再生利用製品・エコ商品の普及○ごみを排出しない生産・流通・販売システム
Ⅲ. 自然の価値の 保全・活用	○自然の価値を伝えるエコツーリズム・グリーンツーリズム
Ⅳ. 森林·水環境の 保全	○流域連携及び都市との連携による森林保全・林業振興○流域・海域連携による海域の水質保全と漁業振興
V. 環境保全活動 の価値の創出	○エコマネーによるエコ商品やエコライフの普及○市民ファンドによる環境ビジネスの展開○環境配慮型金融商品

2-2 主な事例の分析

収集した団体の中で、特に特色のある活動を行っている団体を対象に、ヒアリン グ調査を実施し、取組の目的、内容、成果、成功要因と、今後の課題、他団体・地 域との連携の可能性、今後の展開等について整理を行った。

1. 選定基準

環境分野の活動団体のデータベースや活動に関するニュース情報、関係者へのヒアリング調査などからリストアップした取組事例について、特色のある事例を選定してヒアリング調査を実施し、取組の目的、内容、成果、成功の要因、今後の課題などを把握し、事例シートにとりまとめた。

その際、3つの視点(A、B1、B2)(表2-2-1)で分類化し、それを更に3つの選定基準(表2-2-2)で評価し、ヒアリング調査対象を決定した。その結果、表2-2-3の事例をヒアリング調査対象とした。

表2-2-1 取組事例の分類化

A分類	環境保全活動が経済の活性化に結びつく事例		
B分類	環境保全活動を通じて社会問題解決の基盤強化につながる事例		
	D1八岩	広域的な地域間連携や幅広い主体間のネットワークの	
B 1 分類		強化につながる事例	
	B 2 分類	地域コミュニティの活性化につながる事例	

*B2:活動範囲が特定地域に限られた取組は調査対象から除くが、該当地域において自治体ぐるみで取り組んでいる事例は対象に含む。

表2-2-2 ヒアリング調査対象の選定基準

ア	経済と社会基盤強化の2つの要素(A分類とB分類)を含み、今後の
	取組の発展が期待される事例
1	A分類の事例の中で、広範囲の地域に波及効果が及ぶ可能性のある事
	例
ウ	B1分類の事例の中で、参加する主体や連携する地域が広範囲に及ぶ
	事例

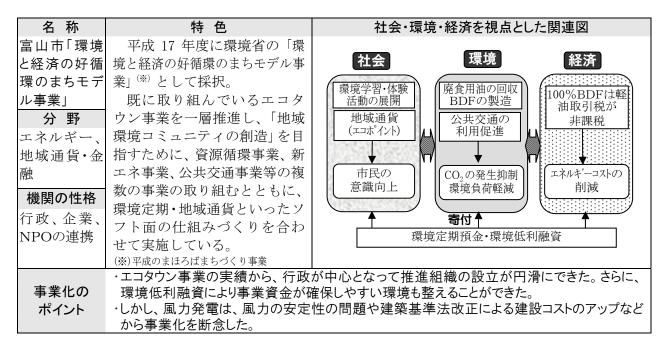
表2-2-3 ヒアリング調査対象事例

類型	取組事例
I. 低炭素社会へ の転換	①富山市「環境と経済の好循環のまちモデル事業」 ②おひさま進歩エネルギー㈱ ③NPO法人地球の未来 ④愛知県水素エネルギー産業協議会
Ⅱ.資源循環利用 システム	⑤NPO法人中部リサイクル運動市民の会⑥NPO法人エコハウス御殿場⑦グリーンライフ 21・プロジェクト⑧福井県池田町「環境からのまちづくり」⑨(有) 三功⑩矢崎総業㈱
Ⅲ. 自然の価値の 保全・活用	①㈱ピッキオ ②トヨタ自動車(トヨタ白川郷自然学校、トヨタの森等)
IV. 森林·水環境の 保全	⑬きんたろう倶楽部⑭ぎふ森林づくりサポートセンター⑮NPO法人穂の国森づくりの会⑯㈱御祓川⑰宮川流域ルネッサンス協議会
V. 環境保全活動 の価値の創出	®金沢信用金庫 ®EXPOエコマネー事業

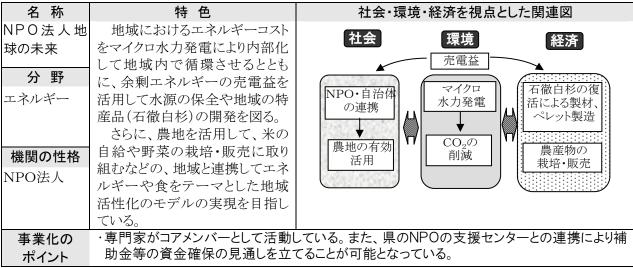
2. ヒアリング調査の結果

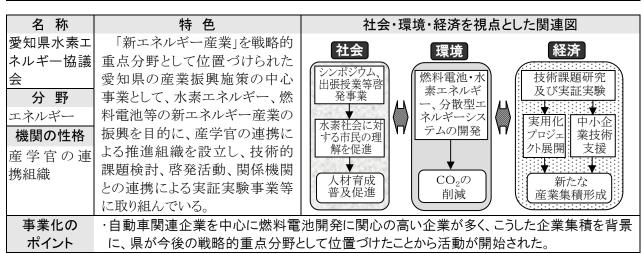
ヒアリング調査の結果について、取組の特色、事業化のポイント、事業の概念図などの概要は下記のとおりである。(※ヒアリング結果は資料編に掲載)

(1) 低炭素社会への転換



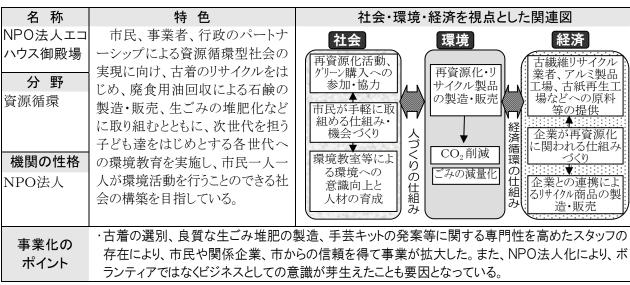
名 称 特色 社会・環境・経済を視点とした関連図 エネルギーの地産地消を実現 おひさま進歩エ 経済 社会 環境 ネルギー(株) するために、平成16年度に飯田 市が採択された環境省の「環境 分 野 太陽光発電、 ブリーン電力の導入 市民出資ファント と経済の好循環のまちモデル事 による市民の 省エネ、木質 によるエネルギ・ エネルギー ペレットボイラ ストの削減 環境行動の喚起 業」を契機に会社を立ち上げ、 ーなどの設置 市民出資のファンドによりこれま 啓発事業により、 市民一人一人の 環境意識の向上 自然エネルギー・省エネ でに 150 箇所を超える太陽光発 ルギー起業講座によ 温室効 豊かな 機関の性格 電システム(おひさま発電所)を 森林の る起業化育成 果ガス 設置・予定している。 の削減 保全 企業、NPO . 讨 リーン電力を活用し 法人 その他、商店街ESCO事業に ガリー ンコン た環境に配慮した商 ж 源 -、ロハスな暮 よる省エネルギー事業、グリーン 広域的な 品・サービスの提供 \mathcal{O} らしを求める人の (グリーン・サービザイジン 保全 事業展開 電力証書の販売によるグリーン 育成 グ事業) 電力事業、木質ペレットボイラー 経済の活性化 を設置し自然のやさしい熱を提 エネルギーの地産地消による自律的で豊かな地域の実現 供する木質バイオマス事業を実 施している。 ・市民参加型事業を理念とするため、当初はNPO法人を設立して推進しながら、有限会社を 設立して市民ファンドによって資金を確保し、本格的な事業展開を図った。 事業化の ·NPOを中心に、行政、弁護士・会計士等の専門家、企業、市民との連携が事業化のポイント ポイント にもなっており、こうした連携が可能となった地域の土壌とキーマンの存在がみられ、県外か らも多くの出資者を集めることができた。

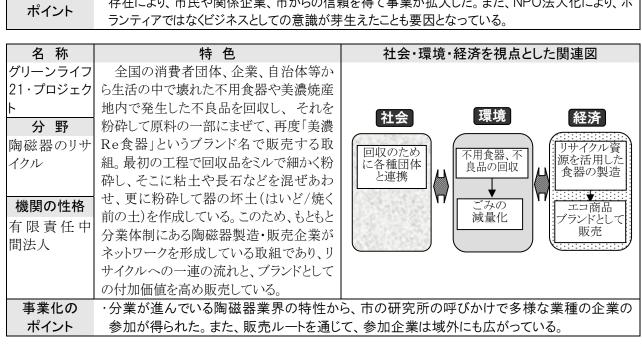




(2) 資源循環利用システム

名 称 特色 社会・環境・経済を視点とした関連図 NPO法人中 地域循環型市民社会を目指し、 社会 経済 環境 部リサイクル 資源回収、不用品交換、エコ商品 協働型資源回 資源回収 み発生抑 運動市民の会 の開発、環境教育、出版事業など 参 収(市民、企業、 (リサイクルステーショ) 制型のもの 行政、NPO等) 加 再利用 分 野 の幅広い活動を展開し、食える市 づくり 型マ 環境教育(講 (フリー -ケット等) リサイクル&リ 民運動として自立的な運営を行っ 断 資源活用 ている。「誰もが参加できる場とシス (エコ商品開発) 座、ガイドブック) ユース み発生抑制 ケティン テムづくり」を基本に、幅広い市民 型販売形態 人の育成 参加型環境 ごみ削減化 エコ商品の を巻き込みながら行政、企業との 機関の性格 グ まちづくり CO。の削減 販売 対等なパートナーシップを形成し NPO法人 参加と協働型の活動を展開してい エコマネ-メディア る。 ・まず自分達できることから率先して活動し、活動モデルを示しながら市民や企業を巻き込んだこと 事業化の により、行政や企業と対等な関係を持つことが可能となり影響力を持つようになった。 ポイント ・多様な主体が参加できる活動の場を設定と具体的な活動を通して人が育ったことが活動を持続 させる力となっている。





名 称 福井県池田 町「環境から のまちづくり」 分 野

資源循環型ま ちづくり

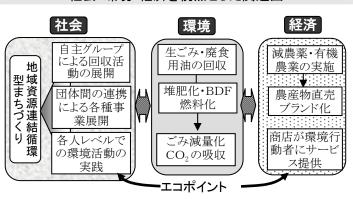
機関の性格 行政、NPO 法人等

特色 生ごみの堆肥化と農業への

還元、低・無農薬・有機農業に よる自然と人にやさしい農産物 の直販、エコポイント、住民の手 づくりイベントなど、住民による 自主的な活動を基本に、地域 内の団体間の連携によるまちぐ るみの環境保全活動を展開し、 地域自体の付加価値のアップ を目指す地域資源連結循環型 まちづくりを推進している。

ある仕組みを構築することができた。

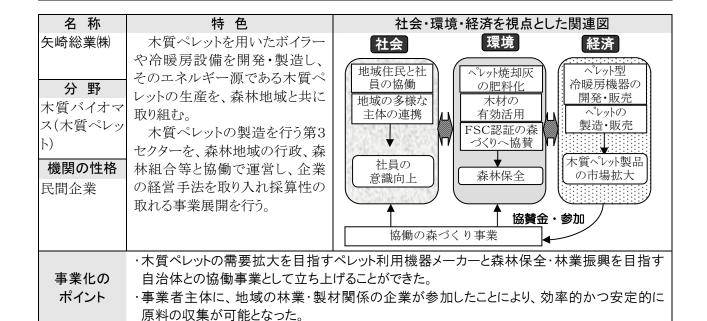
社会・環境・経済を視点とした関連図



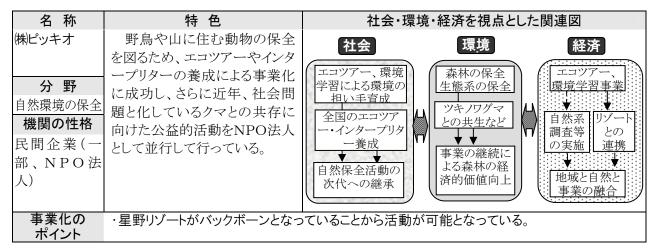
事業化の ポイント

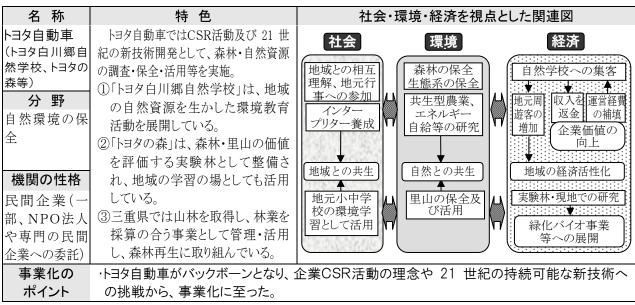
- ・農産物の直接販売の成功体験を通じて、住民が地域の魅力に気づいて地域に対する関心と自 信が高まり、池田町の魅力の源泉である環境を守り改善しようとする住民の機運が盛り上がってき た。
- ・まず住民自ら始める「自助」が基本という認識が定着し、住民の自主的な活動グループがそれぞ れの活動の担い手になっていることから、まちぐるみの活動に発展した。

社会・環境・経済を視点とした関連図 名 称 特色 (有)三功 産業廃棄物処理業者としてス 環境 社会 経済 ーパーなどから出る生ごみの堆 スーパ 肥化に取り組み、それを使用し 生ごみ マーケット 分 野 地産地消の た良質な農産物をスーパーなど 推進 生ごみ等不要 生ごみ に出荷する循環を行っている。 資源の活用 消費者·学校 農産物 (有)三功 農産物 に対する 機関の性格 環境意識の啓発 堆肥 民間企業 農家の経営環境 食についての (有)酵素の里 の向上 循環確立 ・産業廃棄物処理業者として有していた回収ルートを生かした効率的な回収、小売店との関係を生 事業化の かした農産物の直接販売などを可能にしたことにより、事業者、農業者、小売店の三者にメリットの ポイント

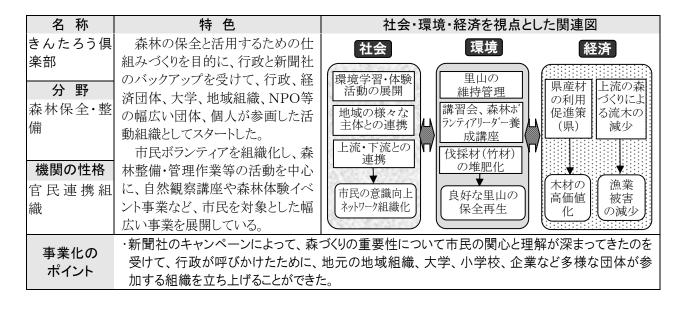


(3) 自然の価値の保全・活用

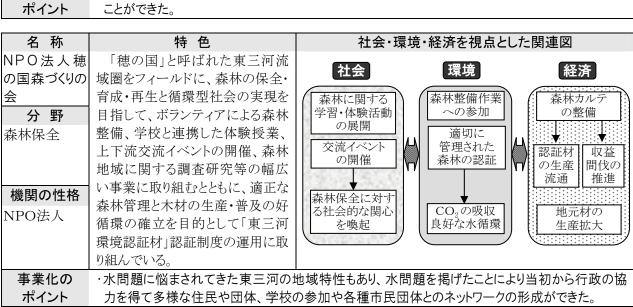


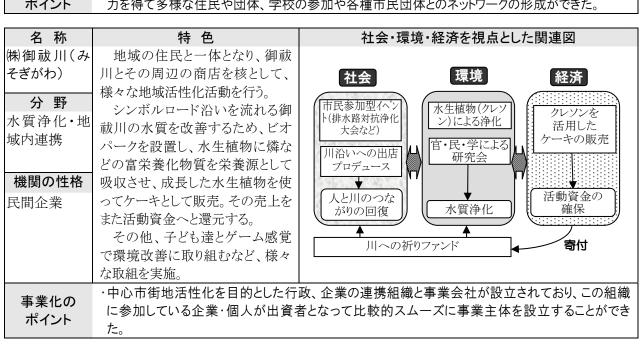


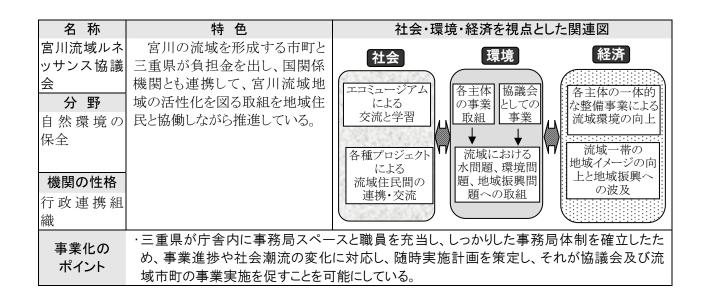
(4) 森林・水環境の保全



名 称 社会・環境・経済を視点とした関連図 特色 ぎふ森林づくり 県が協働による森林づくりのた 環境 経済 社会 めに設置した「ぎふ森林づくりサポ サポートセンタ ートセンター」の運営をNPOが受 県民の主体的な 森林づくりに 企業の参画等に かかわる県下 よる事業資金の 分 野 託して、当面はホームページを中 活動の掘り起し・ NPO等の育成 の活動・ノウハウの 確保 (将来) 心に情報受発信を行い、県下の森 森林保全のた 情報の受発信 **V** めのネットワー 林づくりに関連する団体のネットワ 森林に関心を持 相互の 情報の ークを形成しながら、森林づくりの つ県民の掘り起 活動の 蓄積 し・人材の育成 森 ための活動についての相談、活動 活性化 機関の性格 のための人材やノウハウの情報等 σ 森林保全や集落地 県下の幅広い団 NPO法人(運 保 域活性化を目指し のリソースづくりを進めている。 体や山村地域の 森林保全 営受託者) た事業の推進 また、このような中間支援の事業 住民の地域家政 活動の効 化への参画促進 果的な展開 にとどまらず、山村地域の課題に 対処するための事業や、組織とし 森林づくりのサポートと具体的事業の展開 ての自立を構想している。 事業化の







(5) 環境保全活動の価値の創出

